



「地域医療連携推進法人」設立を合意 [関連記事5ページ]

## 学長就任にあたって



北海道医療大学学長 浅香 正博

この4月より、新川詔夫学長の後任として北海道医療大学の学長に就任しました。私は1972年に北海道医学部を卒業してから、ほぼ40年間を北海道大学で過ごしてきました。学長になる前の半年間、副学長として北海道医療大学に勤務させていただき、国立大学とは全く異なる私立大学の運営について多少なりとも知ることができました。入試の可否に十分時間をかけて判定していることや大学の予算の大半が授業料収入で国からの運営費交付金はほとんど期待できないことなど私にとっては驚きの連続でした。私立大学は国立大学のような国からの補助をあてにできないために自助努力を行って多くの高校生に受験をしてもらい、入学定員を常に充足していかなくては成り立たないことがよく理解できました。これから北海道医療大学をさらに魅力のある大学に発展させ、入学希望者が全国から集まってくれるようにしていきたいと考えております。

今まで本学から世に輩出した1万9千名近くの卒業生のたゆまぬ努力によって全国の医療系大学の中で本学の地域貢献度は常に上位に位置しており、社会から高く評価されております。北海道医療大学生は卒業時に国家試験などの資格試験をパスしなければいけないので、入学後も勉学に励まなくてははいけません。素晴らしい環境を有する本学は勉学にとっただけではなく、クラブ活動やボランティア活動などにも大きな力になってくれると思いま

す。入学後、数年間で人生の方向の大部分が決まる学生の皆さんに思いを馳せる時、大学の最高責任者としての責任の重さを感じます。北海道は明確な四季を持つ素晴らしい大地です。移り変わる季節の中、勉学に励みつつ学内外で多くの思い出を作り、充実した学生生活を送ることができるこの恵まれた自然環境において最良の教育を実践することにより、北海道医療大学を全国から医療人を目指して俊英が集まる希望に満ちた大学へ発展させることができると信じています。そしてこのことが、私が赴任した大きな目的の一つでもあります。

北海道医療大学はこの4月、札幌市で2病院を運営するカレスサッポロと「地域医療連携推進法人」を設立する合意書を締結しました。設立予定の新法人では、一歩進んだ地域医療体制実現をめざすとともに、本学学生の実践教育の強化を図ります。カレスサッポロの運営する2病院(約400床)は、本学の関連病院として臨床実習の場となり、実践教育の質向上を図ることが期待できます。また、新法人の設立で教育と臨床の一貫した実習体制構築が可能となり、より深く効果的な多職種連携教育が実現することを期待しています。このことにより学生諸君のモチベーションがさらに高まり一層勉学に励んでいただけることを期待しております。

これから北海道医療大学の発展に少しでも寄与していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

## CONTENTS

学長就任にあたって	1
教員役職者 新任教員 昇任教員紹介	2
2016年度入試結果報告	3
北市伸義教授が「アジア太平洋眼科学アカデミー業績賞 (Achievement Award)」を受賞	
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	
2016年4月カレスサッポロと「地域医療連携推進法人」設立を合意 株式会社ロイズコンフェクトの山崎社長ら4名が来訪	5
2017年度入試概要	6
私の学生時代	8
OB訪問 [言語聴覚療法学科]	9
学校法人東日本学園	10
○2015年度決算	
○2016年度予算	
新入生アンケート結果報告	12
EDITOR'S NOTE	

# 教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介

## 新規選出教員役職者

学長	個体差健康科学研究所長
浅香 正博	坂野 雄二
大学教育開発センター長	大学教育開発センター副センター長
森田 勲	花淵 馨也

薬学部	学生部長	吉村 昭毅
歯学部	学生部副部長	入江 一元
心理科学部	学生部長	下村 敦司
	学生部副部長	百々 尚美
リハビリテーション科学部	学生部副部長	下村 敦司

## 新規特任教員

心理科学部	教授	坂野 雄二
リハビリテーション科学部	大学教育開発センター教授	国永 史朗

## 新任教員



**薬学部教授**  
(薬剤学)  
**柴山 良彦** (しばやま よしひこ)

九州大学薬学部卒業。同大学院薬学研究所博士前期課程修了。鹿児島大学大学院医学研究科博士課程修了。鹿児島大学医学部附属病院薬部薬剤師、製剤主任、北海道大学大学院薬学研究所臨床薬学教育研究センター准教授、北海道大学病院薬部薬剤師を経て、本学就任。医学博士。



**薬学部准教授**  
(生物物理科学)  
**北浦 廣剛** (きたうら ひろたけ)

北海道大学薬学部卒業。東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻修士課程修了。同博士課程修了。北海道大学薬学部助手。同大学院薬学研究所助教。同大学院生命科学助教を経て、本学就任。薬学博士。



**看護福祉学部教授**  
(看護学科学基礎科学)  
**濱田 淳一** (はまだ じゅんいち)

北海道大学水産学部卒業。同大学院獣医学研究科形態機能学専攻修士課程修了。同大学院医学研究科病理学専攻修士課程修了。日本学術振興会特別研究員、北海道大学遺伝子制御研究所准教授。共同研究拠点室長等を経て、本学就任。医学博士。



**看護福祉学部講師**  
(看護学実践基礎看護学)  
**早出 春美** (そうではるみ)

本学看護福祉学部看護学専攻卒業。長野県看護大学大学院看護学専攻修士課程修了。日本医科大学多摩永山病院中央手術室看護師、長野県看護大学発達看護学講座成人看護学分野講師、白川大学看護学部看護学基礎看護学領域准教授等を経て、本学就任。看護学修士。



**看護福祉学部講師**  
(看護学臨床看護学)  
**石角 鈴華** (いしかづ りんか)

北海道大学医療技術短期大学部卒業。日本看護協会看護福祉学校認定看護師課程修了。同博士課程修了。本学大学院看護福祉学専攻看護学専攻修士課程修了。市立札幌病院看護師主査、天使大学看護学専攻看護学専攻非常勤講師等を経て、本学就任。看護学修士。



**心理科学部講師**  
(臨床心理学)  
**真島 理恵** (ましま りえ)

北海道大学文学部卒業。同大学院文学研究科人間システム科学専攻修士課程修了。同博士課程修了。北海道大学大学院心理学研究科リサーチ・アシスタント、福島県立医科大学医療人育成支援センター助教。いざみりえ大学人文学部非常勤講師等を経て、本学就任。臨床心理学博士。



**心理科学部講師**  
(臨床心理学)  
**本谷 亮** (もとや りょう)

本学心理科学部臨床心理学卒業。同大学院心理学研究科臨床心理学専攻修士課程修了。同博士課程修了。本学大学院心理学研究科リサーチ・アシスタント、福島県立医科大学医療人育成支援センター助教。いざみりえ大学人文学部非常勤講師等を経て、本学就任。臨床心理学博士。



**リハビリテーション科学部教授**  
(作業療法科学)  
**岩瀬 義昭** (いわせ よしあき)

日本福祉大学社会福祉学部卒業。国立産業所東名古屋病院附属リハビリテーション学院卒業。鹿児島大学大学院学術研究科修士課程修了。衛生協同病院作業療法士、鹿児島大学大学院保健学研究科助教。国立産業所東名古屋病院附属看護学校非常勤講師等を経て、本学就任。理学士。



**個体差医療科学センター講師**  
(医学部門)  
**櫻田 理佳** (さくらだ りか)

香川大学医学部卒業。国立水戸病院耳鼻咽喉科医師、筑波大学附属病院耳鼻咽喉科シニアレジデント、水戸赤十字病院耳鼻咽喉科医師、筑波大学附属病院耳鼻咽喉科医師。北海道大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科医員等を経て、本学就任。



**個体差医療科学センター講師**  
(医学部門)  
**堤 雅幸** (つづみ まさゆき)

北海道大学医学部卒業。手稲済仁会病院眼科医師、歯協中央病院眼科医師、特計記念病院眼科医師、帯広協成病院眼科医長、滝川市立病院眼科医長、NTT東日本札幌病院眼科医長等を経て、本学就任。



**認定看護師研修センター専任教員**  
(認知症看護分野)  
**泉 玄太** (いずみ げんた)

市立室蘭看護専門学校卒業。登録厚生年金病院看護師、JCHO登別病院認知症看護認定看護師を経て、本学就任。

薬学部	助教(生命物理科学)	佐々木 隆浩
歯学部	助教(生体機能・病態学系(高齢者・有病者歯科学))	尾立 光
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(歯周歯内治療学))	房川 祐樹
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(口腔制御治療学))	諏訪 涼子
		櫻井 雅彦
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(咬合再建補綴学))	中本 雅久
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(クランアプリアンジブラ補綴学))	笹本 洋平
	任期制助手	安藤 太郎
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(高度先進補綴学))	石岡 政敏
		富野 貴志
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))	村田 さえら
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))	笹本 佳織
		柘原 さや夏
看護福祉学部	助教(看護学成人看護学)	佐土根 岳
	助教(看護学科母子看護学・母性看護学)	嶋田 あゆみ
	助教(看護学地域保健看護学・地域看護学)	田中 裕子
個体差健康科学研究所	助教	高井 理衣

## 昇任教員



**薬学部准教授**  
(実務薬学)  
**吉田 栄一** (よした えいいち)

本学薬学部卒業。同大学院薬学研究所薬学専攻修士課程修了。北海道大学大学院薬学研究所博士課程単位取得後退学。本学薬学部薬化学講義助手、株式会社ファーマフェイト代表取締役。本学薬学部講師等を経て、准教授昇任。薬学博士。



**薬学部准教授(人間基礎科学・生物学)**  
大学教育開発センター准教授  
**近藤 朋子** (こんどう ともこ)

北海道大学水産学部卒業。同大学院理学研究科生物学専攻修士課程修了。同博士後期課程修了。北海道大学理学研究科非常勤講師、良品(化学物質安全総合推進事業)リサーチアシスタント。本学薬学部助教。同大学院教育開発センター講師等を経て、准教授昇任。理学博士。



**薬学部准教授(人間基礎科学・人間生物学)**  
大学教育開発センター准教授  
**新岡 丈治** (にいおか たけはる)

昭和大学薬学部卒業。同大学院薬学研究所薬理学専攻修士課程修了。同博士後期課程修了。昭和大学診療科給薬専門学校兼任助手。本学歯学部口腔生理学講座助手、同口腔生物学系生理学分野助教を経て、准教授昇任。薬学博士。



**薬学部講師**  
(分子生命科学)  
**土田 史郎** (つちだ しろう)

本学薬学部卒業。同大学院薬学研究所薬学専攻修士課程修了。同博士課程単位取得後退学。本学薬学部生化学講座助手、同分子生命科学講座助手、同助教を経て、講師昇任。薬学博士。



**歯学部講師**  
(口腔機能修復・再建学系(歯周歯内治療学))  
**門 貴司** (かど たかし)

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。本学歯学部口腔機能修復・再建学系歯周歯内治療学分野助教。同歯科内科クリニック臨床助手(総合歯科診療科(歯科保存I))を経て、講師昇任。歯学博士。



**歯学部講師**  
(口腔生物学系(生理学))  
**佐藤 寿哉** (さとう としや)

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。本学歯学部口腔生物学系生理学分野助教を経て、講師昇任。歯学博士。



**看護福祉学部(人間基礎科学・社会学)**  
大学教育開発センター教授  
**薄井 明** (うすい あきら)

金沢大学法文学部卒業。一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。同博士後期課程単位取得後退学。工学院大学非常勤講師、旭川医科大学歯学部非常勤講師。本学看護福祉学部講師。同准教授等を経て、教授昇任。社会学修士。



**看護福祉学部(人間基礎科学・経済学)**  
大学教育開発センター准教授  
**櫻井 潤** (さくらい じゅん)

中央大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学専攻現代経済学専攻修士課程修了。同博士課程単位取得後退学。東京大学大学院経済学研究所フェロー・アシスタント。本学看護福祉学部講師。同大学院教育開発センター講師等を経て、准教授昇任。経済学修士。



**心理科学部准教授**  
(臨床心理学)  
**百々 尚美** (もも なおみ)

広島修道大学人間科学部卒業。同大学院人文科学研究科心理学専攻修士課程修了。本学大学院心理学研究科臨床心理学専攻博士課程修了。大阪人間科学大学准教授。本学心理科学部講師。同大学院心理学研究科修士課程講師等を経て、准教授昇任。臨床心理学博士。



**リハビリテーション科学部(作業療法科学・経済学)**  
大学教育開発センター准教授  
**千葉 芳広** (ちば よしひろ)

北海道大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科経済学専攻修士課程修了。同博士後期課程単位取得後退学。北海道大学経済学助手。北海道文教大学非常勤講師。本学大学教育開発センター講師。同大学院リハビリテーション科学研究科博士課程講師等を経て、准教授昇任。経済学博士。



**リハビリテーション科学部講師**  
(言語聴覚療法科学)  
**黒崎 芳子** (くろさき よしこ)

新潟大学人文学部卒業。名古屋文化学園医療福祉専門学校卒業。新潟大学大学院現代社会文化(研究科)人間形成文化論専攻博士後期課程修了。大田原赤十字病院看護部言語聴覚士。本学心理科学部助教。同リハビリテーション科学部助教等を経て、講師昇任。学術博士。

## 配置替

薬学部	教授(実務薬学講座)	平野 剛
歯学部	講師(生体機能・病態学系(高齢者・有病者歯科学))	塚越 慎
	助教(生体機能・病態学系(顎顔面口腔外科学))	南田 康人

# 2016年度 入試 結果報告

本年度の志願者数は  
5,518名

本年度入試の志願者総数は、前年比9.3%減少の5,518名となりました。志願者の最も多かった学科は看護学科1,154名で、次に薬学部900名という結果でした。

編入学試験の  
志願総数は42名

本学全体では42名が編入学を志願しました。うち15名が入学して、実質競争倍率は2.8倍でした。

専門学校志願者の  
8割以上がAO方式入試を利用

毎年志願者の多くがAO方式入試を利用して入試を受けています。志願者は32名で、全体の約89%を占めました。

■2016年度入試結果  
北海道医療大学

歯学部附属歯科  
衛生士専門学校

		薬学部		歯学部		看護福祉学部 看護学科 臨床福祉学科		心理科学部 臨床心理学科		リハビリテーション科学部 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚療法学科			歯科衛生科
		1日目	2日目	1日目	2日目	1日目	2日目	1日目	2日目	1日目	2日目	1日目	
AO方式入試	志願者数	34名	15名	48名	7名	12名	42名	8名	16名	32名			32名
	受験者数	34名	15名	48名	7名	12名	42名	8名	16名	32名			32名
	合格者数	21名	13名	10名	7名	11名	14名	7名	14名	32名			32名
	入学者数	21名	13名	10名	6名	10名	14名	7名	14名	30名			30名
	実質倍率	1.6倍	1.2倍	4.8倍	1.0倍	1.1倍	3.0倍	1.1倍	1.1倍	1.0倍			1.0倍
一般推薦入試	志願者数	32名	2名	42名	0名	1名	23名	5名	8名	—			—
	受験者数	31名	2名	42名	—名	1名	23名	5名	8名	—			—
	合格者数	18名	2名	20名	—名	1名	10名	5名	8名	—			—
	入学者数	18名	2名	20名	—名	1名	10名	5名	8名	—			—
	実質倍率	1.7倍	1.0倍	2.1倍	—倍	1.0倍	2.3倍	1.0倍	1.0倍	—			—
指定校 特別推薦入試	志願者数	53名	9名	30名	12名	12名	19名	6名	15名	—			—
	受験者数	53名	9名	30名	12名	12名	19名	6名	15名	—			—
	合格者数	53名	9名	30名	12名	12名	19名	6名	15名	—			—
	入学者数	53名	9名	30名	11名	12名	19名	6名	14名	—			—
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	—			—
一般前期入試 (大学)	志願者数	1日目 224名	1日目 70名	1日目 309名	1日目 86名	1日目 134名	1日目 183名	1日目 177名	1日目 124名	—			—
	受験者数	2日目 170名	2日目 63名	2日目 336名	2日目 95名	2日目 138名	2日目 177名	2日目 190名	2日目 134名	—			—
	合格者数	1日目 220名	1日目 67名	1日目 304名	1日目 83名	1日目 130名	1日目 179名	1日目 172名	1日目 120名	—			—
	入学者数	2日目 162名	2日目 56名	2日目 332名	2日目 93名	2日目 135名	2日目 172名	2日目 185名	2日目 132名	—			—
	実質倍率	2.8倍	1.7倍	6.3倍	1.7倍	1.7倍	4.8倍	3.9倍	2.5倍	—			—
一般後期入試	志願者数	66名	57名	75名	37名	43名	48名	62名	47名	4名			4名
	受験者数	59名	52名	75名	35名	41名	46名	61名	46名	4名			4名
	合格者数	17名	26名	12名	35名	34名	12名	17名	19名	4名			4名
	入学者数	3名	16名	10名	1名	4名	7名	5名	1名	3名			3名
	実質倍率	3.5倍	2.0倍	6.3倍	1.0倍	1.2倍	3.8倍	3.6倍	2.4倍	1.0倍			1.0倍
センター前期A入試	志願者数	216名	153名	195名	84名	133名	147名	160名	123名	—			—
	受験者数	216名	153名	195名	84名	133名	147名	160名	123名	—			—
	合格者数	63名	114名	45名	76名	89名	38名	50名	67名	—			—
	入学者数	15名	19名	4名	7名	9名	9名	5名	6名	—			—
	実質倍率	3.4倍	1.3倍	4.3倍	1.1倍	1.5倍	3.9倍	3.2倍	1.8倍	—			—
センター前期B入試	志願者数	77名	58名	92名	66名	82名	72名	79名	75名	—			—
	受験者数	77名	58名	92名	66名	82名	72名	79名	75名	—			—
	合格者数	26名	45名	25名	66名	55名	21名	35名	40名	—			—
	入学者数	8名	5名	6名	13名	9名	4名	6名	8名	—			—
	実質倍率	3.0倍	1.3倍	3.7倍	1.0倍	1.5倍	3.4倍	2.3倍	1.9倍	—			—
センター後期入試	志願者数	28名	19名	27名	22名	36名	21名	29名	28名	—			—
	受験者数	28名	19名	27名	22名	36名	21名	29名	28名	—			—
	合格者数	12名	15名	13名	22名	36名	6名	14名	18名	—			—
	入学者数	0名	1名	4名	0名	6名	0名	1名	3名	—			—
	実質倍率	2.3倍	1.3倍	2.1倍	1.0倍	1.0倍	3.5倍	2.1倍	1.6倍	—			—
TOTAL	志願者数	900名	446名	1,154名	409名	591名	732名	716名	570名	36名			36名
	受験者数	880名	431名	1,145名	402名	582名	721名	705名	563名	36名			36名
	合格者数	345名	297名	256名	324名	392名	193名	226名	283名	36名			36名
	入学者数	169名	80名	115名	44名	70名	88名	44名	68名	33名			33名
	実質倍率	2.6倍	1.5倍	4.5倍	1.2倍	1.5倍	3.7倍	3.1倍	2.0倍	1.0倍			1.0倍

## 北市伸義教授が 「アジア太平洋眼科学アカデミー業績賞 (Achievement Award)」を受賞しました

2016年3月25日に台湾・台北で開催された第31回アジア太平洋眼科学アカデミー (APAO) 年次総会にて、本学个体差医療科学センター北市伸義教授が「アジア太平洋眼科学アカデミー業績賞 (Achievement Award)」を受賞しました。

APAOは1960年創設の長い歴史を持ち、現在25の国と地域の眼科学会が加盟する大きな学会で、この賞は2008年に創設され、APAO年次総会への科学的貢献を表彰するものです。



プレゼンターのAPAOナディーム・ブット委員(パキスタン)(左)と、北市教授

### 北海道医療大学

#### (第101回 薬剤師国家試験)

全国平均を上回る合格率  
全卒業生の97.2%が薬剤師免許を取得

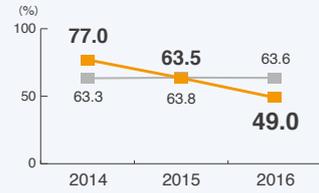
■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第109回 歯科医師国家試験)

全卒業生3,122名の97.7%が  
歯科医師国家資格を取得

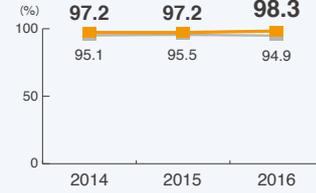
■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第105回 看護師国家試験)

全卒業生の98.7%が  
看護師免許を取得

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第102回 保健師国家試験)

新卒合格率は94.7%  
15名は看護師と保健師の同時取得を実現

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第28回 社会福祉士国家試験)

社会福祉士国家試験の合格率は  
道内私大トップの成績

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第18回 精神保健福祉士国家試験)

合格者の多くが社会福祉士との  
ダブルライセンスを取得

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第18回 言語聴覚士国家試験)

全国平均を上回る合格率。  
全卒業生の96.5%が  
言語聴覚士免許を取得。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

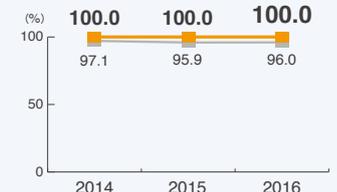


#### 歯学部附属歯科衛生士専門学校

#### (第25回 歯科衛生士国家試験)

8期連続100%  
3年制移行後も安定した合格率

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



# 就職状況 結果報告

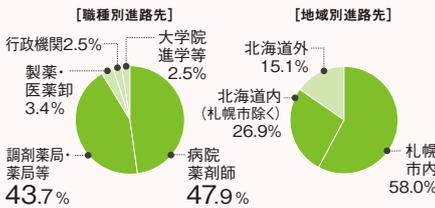
本学卒業生への評価の高さが、求人の質・量に直結。  
より深い知識修得をめざし大学院へ進学する人も。

#### 薬学部

2016年も5,000人を超える求人  
6年制移行後も高い就職率を維持

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	薬剤師... 5,263人 MR・研究・開発職... 180人
-----	------------------------------------

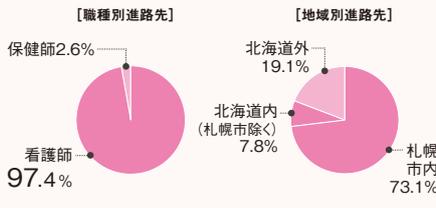


#### 看護福祉学部/看護学科

卒業生は札幌と首都圏を中心に  
全国の総合病院で活躍

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	看護師... 16,554人 保健師... 324人
-----	-------------------------------

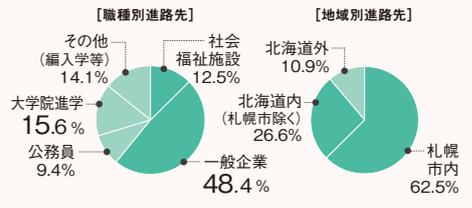


#### 心理科学部/臨床心理学科

ビジネス界、医療・福祉、進学  
専門性を生かし、幅広い分野で活躍

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	心理職... 95人 一般事務・その他... 4,086人
-----	----------------------------------

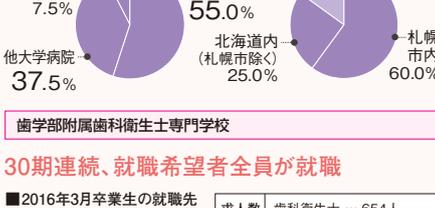


#### 歯学部

卒業後は臨床能力の向上をめざして臨床研修医の道へ

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	歯科衛生士... 654人
-----	---------------

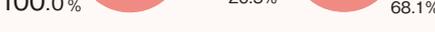


#### 歯学部附属歯科衛生士専門学校

30期連続、就職希望者全員が就職

■2016年3月卒業生の就職先(歯科衛生士)

求人数	歯科衛生士... 654人
-----	---------------

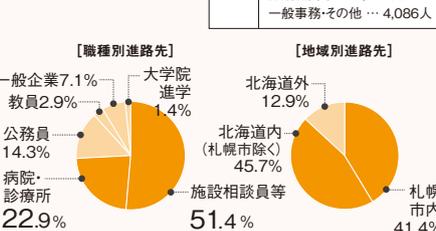


#### 看護福祉学部/臨床福祉学科

卒業生の7割が施設や、病院へ  
公務員など幅広い分野で活躍

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	医療機関相談員... 192人 福祉施設相談員 介護職員等... 1,991人 一般事務・その他... 4,086人
-----	---

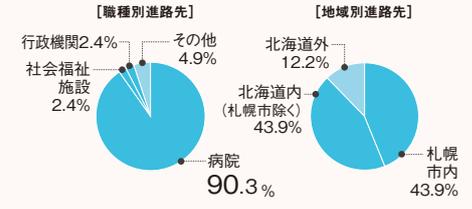


#### リハビリテーション科学部/言語聴覚療学科

2016年卒業生の9割以上が  
病院の言語聴覚士として活躍

■2016年3月卒業生の就職先

求人数	言語聴覚士... 994人
-----	---------------



※リハビリテーション科学部/理学療法学科・作業療法学科については、第1期生が、2017年3月卒業予定です。

## 2016年4月カレスサッポロと 「地域医療連携推進法人」設立を合意。

2016年4月本学は、札幌市で2病院を運営するカレスサッポロと地域医療連携推進法人を設立する合意書を締結しました。設立予定の新法人では、一歩進んだ地域医療体制実現をめざすとともに、本学学生の実践教育の強化を図ります。



医療法人と地域医療の充実へ力を合わせて取り組みます。左から社会医療法人社団カレスサッポロの大城辰美理事長、本学浅香学長、本学東郷重興理事長。

### 臨床教育体制がますます充実します。

カレスサッポロは札幌市内に「時計台記念病院」(250床)と「北光記念病院」(145床)の2病院に加え、2つのクリニック、介護老人保健施設、クリニカル・シミュレーションセンター、在宅医療福祉支援センターを運営しています。カレスサッポロの運営する2病院は本学の関連病院として臨床実習の場となり、実践教育の質向上を図ることが期待できます。新法人の設立で学生と医師、医学との距離を縮め、多職種連携教育をより深く効果的なものへと進化させます。

### 本学の「地域包括ケアセンター」とも連携。

カレスサッポロは本学の実習生受け入れをはじめとした実践教育への協力のほか、本学「地域包括ケアセンター」への医師派遣、在宅患者の急変時の入院支援などを行うことが予定されています。慢性期患者の在宅ケアを担う「地域包括ケアセンター」と急性期医療を担うカレスサッポロが補完し合うことで切れ目ない地域医療体制の実現を図り、社会への貢献をめざします。

### カレスサッポロ運営病院・施設



#### 時計台記念病院

札幌の都心部にあり、専門化された12の診療センターが連携し、質の高い地域医療を展開しています。病床数は250床。



#### 時計台記念クリニック

幅広い内科の総合診療に加え、数多くの専門外来を有しています。



#### ケア・ばんけい

定員100名の介護老人保健施設です。



#### 北光記念病院

急性心筋梗塞や不整脈などすべての循環器疾患に対応する専門病院です。病床数は145床。



#### 北光記念クリニック

内科、循環器内科等4診療科を開設し、生活習慣病改善プログラムにも力を入れています。



#### クリニカル・シミュレーションセンター

看護師のためのスキルアップ施設です。

## 株式会社ロイズコンフェクトの 山崎社長ら4名が来訪。

6月29日、株式会社ロイズコンフェクトの代表取締役社長山崎泰博氏はじめ山崎常務取締役、当別町太美地区及び札幌市北区あいの里の各工場から石川赳雄氏、谷口啓之氏の計4名の来訪がありました。本学では東郷理事長、浅香学長らと懇談を行い、今後の学生・教職員を含めた連携・協力の可能性などについて話し合いが行われ、具体的にはポリフェノールを多量に含むカカオ豆の学術的研究、新製品の開発時における本学学生からのアイデア活用、本学医療機関の利用など教職員ばかりでなく学生も含めた有効な交流を模索していくこととなりました。懇談の後は本学の施設、薬用植物園・薬草温室、中央講義棟10階等を見学していただきました。

来訪に際し、山崎社長からロイズの直営農場がある石垣島産の幹生果(カカオポッド)を贈呈いただきました。このカカオポッドから種子を取出し、本学薬用植物園で栽培を試みる予定です。



前列中央が山崎社長、後列右から順に山崎常務、谷口氏、石川氏。



贈呈いただいたカカオポッドの前に理事長、学長との話も弾みました。

# 2017年度 入試概要

## 本学独自の「夢つなぎ入試」で経済的支援

経済的理由により大学進学が困難な状況にある受験生を支援するため、初年度入学金の全額と授業料の半額を免除する「夢つなぎ入試」を、一般後期・センター後期入試において実施します。

## 「薬学教育・研究者育成奨学生」

### 「歯学部特待奨学生」

### 「福祉・介護人材育成奨学生」は学納金が大幅に減免

薬学部と歯学部では、将来、薬学教育・研究を支える、もしくは歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持った方を支援するため、卒業までの学納金を国公立大学と同水準とする制度を実施します。「薬学教育・研究者育成奨学生」は一般前期・センター前期A入試において、「歯学部特待奨学生」はセンター前期A・一般後期B入試において募集します。

また、臨床福祉学科では、人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、卒業までの学納金が90万円となる「福祉・介護人材育成奨学生」制度を実施します。一般前期・センター前期A・センター前期B入試において募集します。

## 一般前期入試は「試験日自由選択制」を導入

一般前期入試は1月30日と1月31日の2日間実施しており、両日とも受験できるのでチャンスが2回あります。検定料は両日受験でも1日目の受験でも一律3万円。複数学科の併願も可能で、すべての学科を受験しても追加の検定料は一切かかりません。(1日の受験で併願できる学科には制限があります。詳しくは学生募集要項をご覧ください。)

## 一般前期入試は全国12会場で実施

一般前期入試は札幌、旭川、帯広、北見、函館、青森、秋田、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の全国12会場で実施します。

## センター利用入試はチャンスが3回

前期A、前期B、後期の3回実施しています。大学独自の個別試験は行わず、本学が指定する科目の大学入試センター試験の得点のみで合否判定を行います。

また、同一入試形態内の併願が可能。追加の検定料はかかりません。さらに前期AとBの両方の入試形態に出願することもできます。

## 一般入試とセンター入試の併願が可能

一般前期入試とセンター前期A・B入試の併願や、一般後期入試とセンター後期入試の併願ができます。

## 合格のチャンスは合計7回

全学部全学科でAO方式入試、推薦入試(一般・指定校)、一般前期入試、一般後期入試、センター前期A・センター前期B・センター後期入試の合計7回の入試を実施します(歯学部は一般後期B入試を加えた8回)。

## 歯学部・臨床福祉学科ではAO方式入試Ⅱ期・Ⅲ期を実施

AO方式入試Ⅱ期の出願受付を2016年10月3日(月)から12月28日(水)まで、Ⅲ期の出願受付を2017年1月6日(金)から3月23日(木)[歯学部:2月17日(金)]まで行っています。

## インターネット出願を実施

センター前期B入試、一般後期入試、センター後期入試で実施しています。詳細は、学生募集要項でご確認ください。

## 2017年度 北海道医療大学入試概要

	募集定員	薬学部	歯学部	看護福祉学部		心理科学部	リハビリテーション科学部		
		薬学科 【募集定員 160名】	歯学科 【募集定員 80名】	看護学科 【募集定員 100名】	臨床福祉学科 【募集定員 80名】	臨床心理学科 【募集定員 75名】	理学療法学科 【募集定員 80名】	作業療法学科 【募集定員 40名】	言語聴覚療法学科 【募集定員 60名】
AO方式入試 ※1	募集定員	17名	20名	6名	15名	10名	10名	5名	12名
	試験日	2次:2016年10月9日(日)							
	合格発表日	1次:2016年9月30日(金) 2次:2016年10月14日(金)							
	試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)							
推薦入試	募集定員	一般17名 ※2 指定校特別28名	一般8名 ※2 指定校特別8名	一般16名 ※2 指定校特別16名	一般10名 ※2 指定校特別14名	一般10名 ※2 指定校特別10名	一般10名 ※2 指定校特別10名	一般5名 ※2 指定校特別5名	一般7名 ※2 指定校特別8名
	試験日	2016年11月13日(日)							
	合格発表日	2016年11月18日(金)							
	試験会場(受験地)	本学(当別キャンパス)・帯広・北見・函館・仙台・東京・大阪・那覇 ※ただし、指定校特別推薦は一部会場のみ。							
一般前期入試	募集定員	65名	25名	40名	23名	24名	30名	14名	14名
	試験日	2017年1月30日(月)・2017年1月31日(火) ※3 試験日自由選択制							
	合格発表日	2017年2月11日(土)							
	試験会場(受験地)	札幌・旭川・帯広・北見・函館・青森・秋田・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡							
一般後期入試(B※歯学部のみ)	募集定員	5名	一般後期4名 一般後期B3名	5名	5名	4名	4名	2名	3名
	試験日	2017年2月28日(火)	2017年2月28日(火) 一般後期B 2017年3月17日(金)	2017年2月27日(月)					
	合格発表日	2017年3月7日(火)	2017年3月7日(火) 一般後期B 2017年3月22日(水)	2017年3月7日(火)					
	試験会場(受験地)	札幌・東京・大阪							
センター前期A入試	募集定員	15名	6名	8名	6名	8名	7名	4名	8名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2017年2月11日(土)							
センター前期B入試	募集定員	10名	4名	6名	4名	6名	6名	3名	6名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2017年2月11日(土)							
センター後期入試	募集定員	3名	2名	3名	3名	3名	3名	2名	2名
	試験日	本学独自の個別試験は実施しない							
	合格発表日	2017年3月7日(火)							

※1 歯学部・臨床福祉学科はⅡ期、Ⅲ期の出願があります。 ※2 指定校特別推薦は指定校制です。募集要項等は、直接指定校のみに配布しますので、詳細は各高等学校へお問い合わせください。

※3 一般前期入試の試験日は2日間設定しており、出願時に希望する試験日を登録できます。

## センター利用入試(前期A)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語	「英語」
	数学	「数学I-A」、「数学II-B」から1科目選択
歯学部 (歯学科)	理科	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択
	外国語	「英語」
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	数学・国語	「数学I」、「数学I-A」、「数学II」、「数学II-B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
心理科学部 (臨床心理学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理」、「政治・経済」から1科目選択

【備考】 ●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含みません。  
●薬学部の「数学」「理科」については、センター試験の得点を2倍にして計算します。  
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

## センター利用入試(前期B・後期)の指定教科・科目

学部・学科	教科	科目
薬学部 (薬学科)	外国語・数学	「英語」、「数学I-A」、「数学II-B」から1科目選択
歯学部 (歯学科)	理科	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択
看護福祉学部 (看護学科/臨床福祉学科)	外国語・数学・国語	「英語」、「数学I」、「数学I-A」、「数学II」、「数学II-B」、「国語(近代以降の文章)」から1科目選択
心理科学部 (臨床心理学科)	理科・地理 歴史・公民	「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」から2科目選択、または「化学」、「生物」、「物理」、「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理」、「政治・経済」から1科目選択

【備考】 ●「英語」については、筆記試験のみを対象とし、リスニングテストは含みません。  
●「英語」以外の科目は、センター試験の得点を2倍にして計算します。  
●各教科・科目で2科目以上受験した場合は、最も高得点の科目を合否判定に使用します。

## 歯科衛生士 試験概要

### AO方式入試エントリー受付中。各入試の試験会場は道内各地。

本年度も歯科衛生士専門学校では、AO方式入試においてエントリーを受け付けます。推薦入試を10月・11月と2回実施し、推薦入試Ⅱ期は本校・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Aは札幌・帯広・北見・函館の4会場、一般前期Bは札幌・旭川・帯広・北見・函館の5会場で開催します。また、AO方式入試・推薦入試において早期に書類合格した方は、入学金20万円の半額が減免となります(人数に制限があります)。

#### ■2017年度 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校入学試験概要

	AO方式入試	推薦入試		一般前期入試(A日程)	一般前期入試(B日程)	一般後期入試
		I 期	II 期			
募集定員	20名	17名		5名	5名	3名
試験日	エントリーシート提出後、面接を実施	2016年10月9日(日)	2016年11月13日(日)	2016年12月4日(日)	2017年1月31日(火)	2017年2月28日(火)
合格発表日	出願受付後10日を以て通知	2016年10月14日(金)	2016年11月18日(金)	2016年12月7日(水)	2017年2月4日(土)	2017年3月7日(火)
試験会場	本校(当別キャンパス)他	本校(当別キャンパス)	本校(当別キャンパス)・帯広・北見・函館	札幌(札幌サテライトキャンパス)・帯広・北見・函館	札幌・旭川・帯広・北見・函館	札幌

## 編入学 試験概要

### 2年次・3年次の編入学制度があります。

本学は、一般の入学試験とは別に、専修学校や短期大学を卒業した方(卒業見込み者含む)、または大学在学中(2年以上、62単位以上修得)の方、さらに一度社会に出たけれども専門知識や能力をより高めたいと考えている方を対象に、2年次、3年次編入学試験を実施しています。一般選抜のほかに、社会人特別選抜も実施しています。また、編入学試験は毎年2回行われており、I期で不合格であってもII期で再チャレンジすることができます。

#### ■2017年度 北海道医療大学編入学試験概要

		薬学部 (3年次編入)	歯学部 (2年次編入)	歯学部 (3年次編入)	看護福祉学部 (3年次編入)		心理科学部 (3年次編入)	リハビリテーション科学部 (2年次編入) (2年次編入) (3年次編入)													
		●薬学科	●歯学科	●歯学科	●看護学科	●臨床福祉学科	●臨床心理学科	●理学療法学科	●作業療法学科	●言語聴覚療法学科											
I 期	募集定員	7名	若干名	若干名	6名	6名	2名	3名	3名	7名											
	試験日	2016年11月13日(日)																			
	合格発表日	2016年11月18日(金)																			
試験会場											本学(当別キャンパス)・東京・大阪										
II 期	募集定員	3名	若干名	若干名	3名	3名	若干名	2名	2名	3名											
	試験日	2017年1月31日(火)				2017年1月30日(月)															
	合格発表日	2017年2月11日(土)	2017年2月4日(土)				2017年2月11日(土)														
試験会場											札幌・東京・大阪										

## 大学院入学 試験概要

### 各研究科とも、一般選抜、社会人選抜を実施。

本学の大学院には、薬学・歯学・看護福祉学・心理学・リハビリテーション科学の5研究科があり、すべての研究科において一般選抜と社会人選抜があります。また、歯学研究科では「研究コース」に加え「認定医・専門医養成コース」もあり、研究者だけでなく、認定医・専門医育成の体制も整っています。看護学専攻博士前期課程では、専門看護師(CNS)、ナースプラクティショナー(NP)の教育課程も設置しています。

#### ■2017年度 北海道医療大学大学院入学試験概要

\*薬・歯学研究科につきましては、2016年度10月入学試験を実施しております。

		薬学研究科	歯学研究科	看護福祉学研究科	心理科学研究科	リハビリテーション科学研究科
		●生命薬科学専攻[修士課程] ●薬学専攻[博士課程]	●歯学専攻 *1[研究コース/認定医・専門医養成コース]	●看護学専攻 ●臨床福祉学専攻	●臨床心理学専攻 ●言語聴覚学専攻	●リハビリテーション科学専攻
博士前期(修士課程)	第1回	募集定員 一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	—	一般選抜:(看護学)15名(社会人を含む) (臨床福祉学)5名(社会人を含む) 社会人選抜:(看護学)15名(社会人を含む) (臨床福祉学)5名(一般を含む)	一般選抜:(臨床心理学)10名以内(学内選抜含む) (言語聴覚学)3名(社会人を含む) 社会人選抜:(臨床心理学)10名以内(学内選抜含む) (言語聴覚学)3名(社会人を含む)	一般選抜: 5名(社会人を含む) 社会人選抜: 5名(一般を含む)
	試験日	2016年8月24日(水)	—	2016年9月27日(火)	2016年9月21日(水)	2016年10月17日(月)
	合格発表日	2016年8月31日(水)	—	2016年10月4日(火)	2016年9月28日(水)	2016年10月24日(月)
第2回	募集定員	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	—	一般選抜:(看護学)若干名(社会人を含む) (臨床福祉学)若干名(社会人を含む) 社会人選抜:(看護学)若干名(一般を含む) (臨床福祉学)若干名(一般を含む)	一般選抜:(臨床心理学)若干名 (言語聴覚学)2名(社会人を含む) 社会人選抜:(臨床心理学)若干名 (言語聴覚学)2名(一般を含む)	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)
	試験日	2017年1月25日(水)	—	2017年1月24日(火)	2017年1月18日(水)	2017年1月23日(月)
	合格発表日	2017年2月1日(水)	—	2017年1月31日(火)	2017年1月25日(水)	2017年2月1日(水)
博士後期(博士課程)	第1回	募集定員 一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	一般選抜: 10名(社会人を含む) 社会人選抜: 10名(一般を含む)	一般選抜:(看護学)2名(社会人を含む)* (臨床福祉学)2名(社会人を含む)* *社会人とは、修士課程修了後、3年以上の実務経験を有する者	一般選抜:(臨床心理学)2名 (言語聴覚学)2名(社会人を含む) 社会人選抜:(言語聴覚学)2名(一般を含む)	一般選抜: 2名
	試験日	2016年8月24日(水)	2016年9月26日(月)	2017年2月7日(火)	2017年2月9日(木)	2017年2月14日(火)
	合格発表日	2016年8月31日(水)	2016年9月30日(金)	2017年2月14日(火)	2017年2月16日(木)	2017年2月21日(火)
第2回	募集定員	一般選抜: 3名(社会人を含む) 社会人選抜: 3名(一般を含む)	一般選抜: 2名(社会人を含む) 社会人選抜: 2名(一般を含む)	—	—	—
	試験日	2017年1月25日(水)	2017年2月16日(木)	—	—	—
	合格発表日	2017年2月1日(水)	2017年2月24日(金)	—	—	—
第3回	募集定員	—	一般選抜: 若干名(社会人を含む) 社会人選抜: 若干名(一般を含む)	—	—	—
	試験日	—	2017年3月27日(月)	—	—	—
	合格発表日	—	2017年3月31日(金)	—	—	—

[試験会場] 薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科・リハビリテーション科学研究科は当別キャンパス、心理科学研究科は札幌あいの里キャンパスで実施します。

\*1 研究コースは一般選抜および社会人選抜、認定医・専門医養成コースは一般選抜のみの実施になります。

## 私の学生時代

薬学部  
薬学科

教授 和田 啓爾



学生時代で最も印象深いのは北大大学院(薬学)の時です。修士、博士課程を通じ、毎朝9時前から夜11時頃まで年中無休の研究室暮らしでした。講座には大学院生が総勢10人くらいは在籍していましたので、家族以上の付き合いでした。日中は個々に実験に没頭し、鼻歌や、冗談の掛け合いをしながら研究していました。

月曜は実験報告会、水曜は院生ゼミ、



院生時代の研究風景。  
失敗はすべて自己責任なので、目つきは真剣?

木曜は文献紹介ゼミと結構ハードスケジュールでした。そんな研究生活の中で、レクリエーションはスポーツです。毎年、講座対抗のソフトボール大会があり、皆、結構燃えました。ある年、私の講座が決勝戦でノーヒットノーランを達成して優勝しました。私は捕手でしたが、投手がソフトボールなのに変化球を投げるので、神経を使いました。キャッチャーフライを捕球する時も球が激しく回転していたので落球したら先輩に何と言われるかドキドキしました。私はもともと左利きで、スイッチヒッターです。左打席のほうが飛距離はでますが、写真はたまたま右打席の時のものです(フォームは結構いいかも)。

夜、教員が帰宅すると、研究室で頻繁に鍋を囲んで院生の飲み会をしました。他講座の院生も時々飛び入りしていました。アルコールが入ると普段言えないまじめな研究の話で盛り上がり、相手の研究内容



講座対抗ソフトボール大会での打席。実験中より真剣な顔つき?頭上に打球があることから相当な飛距離の本塁打の瞬間か(笑)

や成果について結構厳しい議論をしました。でも、それはお互いに研究内容を十分に理解しているからであり、研究に対してより向上心が高まった充実した時であったように思います。今の自分があるのはこの時の仲間との真剣なやり取りだったと思っています。先輩から、「自分の手がけた研究は、世界の最先端だと思え。誰よりも一番研究内容を理解していなければならぬ!」という言葉が忘れられません。

どんな小さな課題でも、真剣に取り組むことでほかの人には見つけることのできない自分だけの発見が待っていると思うとワクワクしてきません。

# 私の学生時代

今、本学の教壇に立たれている先生たちは、学生時代をどのように過ごしていたのでしょうか。今回は和田 啓爾教授と本谷 亮講師のお二人に、当時の様子を語っていただきました。

## 私の学生時代

心理科学部  
臨床心理学科

講師 本谷 亮



元々医療領域に興味はありましたが、志望校を立て続けに落ち、くすぶっていた浪人時代、目に留まったのが“北海道医療大学に新設の心理科学部誕生”というパンフレットでした。心理学=文系というイメージが強く、理系であった私には、心理学に興味はありながらも、それを学ぼうという考



スーパーカーとうどんを出品し、大盛況だった九十九祭にて(前列右から6番目が私)

えはありませんでした。しかし、心理科学部臨床心理学科での“医科学系も学び、心を科学的に理解する”というユニークさに惹かれ、「これだ!」と入学を決めました。ただ、それでも合わなければ…という思いも片隅にあったくらいですが、結局その後、大学院博士後期課程までの9年間(人生の約4分の1!)医療大に在籍し、今もこうして学生時代に学んだことを活かした仕事に就いている事実を考えると、自分の選択は間違っていなかったのだと再認識します。厳しくも温かい恩師との出会い、叱咤激励してくれる先輩、苦楽を共にし、刺激し合える友人や後輩たちの存在は自分の財産ですね。

さて、学生時代ですが、ほぼ毎日、アルバイトをしていました。その分、アルバイトが休みのときは、同級生と飲みに行ったり、朝まで談笑したり、友人が立ち上げたサークルに参加するなどしていました。写真は、そのサークルで学祭に出店した際の一枚です。



ハワイの海で初のボディボード後、プレゼントされたアロハシャツを着て

また、単純で、人から影響を受けやすく、友人が「身体ぐらい鍛えていない!」と言えばそうだなと思い、スポーツジムに通い始め、「やっぱり英語ぐらいは話せない!」と耳にすれば確かにと思い、英会話を学びに行き、とやりたいことはとりあえず実行に移していました。ひよんなことで知り合い、交流を深めたアメリカ人の知人を訪ね、単身でハワイに行った(人生初の海外旅行)のもいい思い出です。大学外での活動は、大学とはまた違った出会いや発見があり、自分の価値観をさらに広げる良い機会になっていたと思います。

紙面では書ききれない失敗談も多々ありますが、70%くらいは糧になっているかなと思います。

## OB訪問



今回ご紹介するのは、緑深い森を背に札幌の街並みを見下ろす札幌西円山病院に勤務するST(言語聴覚士)川岸さん。卒後4年目の夏を迎え、チーム医療の一員として、高次脳機能障害リハビリの専門家として、大きく成長中です。

## 札幌西円山病院 言語聴覚士

川岸 優樹さん

(心理科学部言語聴覚療法学科\* 2013年3月卒業)  
\*2015年度よりリハビリテーション科学部言語聴覚療法学科

## リハビリは多職種連携で

札幌西円山病院はQOL(クオリティ・オブ・ライフ/生命・生活・人生の質)を尊重した高齢者医療・ケアで知られます。900人を超える職員が働き、川岸さんの所属するリハビリテーション部スタッフもPT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)合わせて185人(2016年4月現在)を数えます。看護・福祉・リハビリ、各部門で本学卒業生も多数活躍中です。

川岸さんは回復期病棟で、嚥下障害、認知症、高次脳機能障害などの担当患者さんに対し、発声、発語や嚥下(飲み込むこと)の訓練を行っています。患者さんの入院期間は約半年、その間にPT、OTと共に定めたゴールめざして、患者さんを全人的にとらえてリハビリを実施します。脳卒中で起き上がることも困難になってしまった患者さんが半年のリハビリで着替えや食事、車いすの乗降を自分でできるようになったら、それはPT・OT・STの専門性と、しっかりとした協働の成果なのです。

## 患者さんの願いをチームで

回復期病棟のリハビリは月に1度、医師、看護師、PT、OT、ST、介護福祉士、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士が参加す



舌圧子(木のへら状)を舌先にあて200gの力で押し舌圧をみる(左)、唾液や食物が残っていないか耳で確認する(右)、その感触と健常者の状態を忘れないよう、ST同士での確認は欠かせません。世界的なプロ野球選手が素振りや欠かさないのと同じです(川岸さんは野球少年でした)。

るカンファレンスに基づいて行われています。「退院後の生活を考えたリハビリのゴール、方法はもちろん、入院中の希望もできる限りかなえられるよう取り組みます。例えば『外出して買い物したい』と希望された場合、車いすで何時間なら上体を起こしていただけるか、移動、飲食、トイレなどをどうするか、様々な視点から検討します」と川岸さん。その細かさは「この患者さんはAショッピングセンター内のB店の、あのメニューなら食べられる」という具体例に及ぶといえます。

## 高次脳機能障害の専門家として

STの専門領域には、けがや病気で脳に損傷を受けて起きる認知機能全般の障がい(高次脳機能障害)があります。STは脳の部位が司る機能の専門家でもあるのです。損傷した部位で異なる障がいを、検査などで特定することもSTの役割です。

「2度の脳梗塞で左前頭葉と右頭頂葉に損傷を受け、会話でのコミュニケーションにはほとんど影響がないものの文字が書けなくなってしまう患者さんがいらっしゃいました。構成失書という障がいです。2画の文字も書けない状態でしたが、習慣だった日記を再開したいという強い意志をお持ちで、半年で13画の漢字を含めた短文の模写ができるまでになりました。」「非常に難し



17時を回るとリハビリスタッフが病棟から一斉に戻ってくるスタッフ室。ST、PT、OTの境界がなく、その規模に圧倒されます。5人の若手ST、前列左は十川舞さん(本学2012年卒)、右は川岸さんが頼りにしている先輩ST長谷川弥生さん、後列左は川岸さんの本学の同期で親友・進藤翔さん、右は坂上佑斗さん(本学2015年卒)。

いケースでした」と振り返る川岸さん。STとしての幅を広げる手応えを感じるケースでもあったようです。

## 年次目標:学会発表

川岸さんが就活中に札幌西円山病院を志望した理由は大きく2つあったといえます。一つは唾液も飲み込めないような重症の患者さんであっても口から食べることをあきらめないというリハビリ方針への共感。もう一つは、絶え間なくスキルアップを図るための充実した研修・指導体制でした。STにも1年目から年次目標が定められ、4年目の川岸さんには今年も学会発表が待っています。「勉強したい」意欲を持ち続ける川岸さんの成長に、弾みがつく機会となりそうです。

川岸さんは昨年のオープンキャンパスで、本学の同期、現在は職場の同僚である進藤翔さんと一緒に卒業生講演をしてくださりました。個性異なる二人の学生時代、STの仕事にまつわるリアルなトークは高校生に大好評でした。川岸さん、未来を担う若きSTとして、これからもその仕事の魅力をどんどん発信していきましょう。

# 2015年度決算について

2015(平成27)年度決算は、学園監事による監査を受けた後、5月26日開催の理事会において承認されましたので、その概要についてお知らせします。

## 2015年度決算の概要

### はじめに

経済状況の悪化や少子化による18歳人口の減少等により、学校法人の経営は一層厳しさを増しています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、授業料収入などの有限の財源のほかに補助金や受託研究等外部からの資金導入を積極的に図り効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。今後も努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【計算書の解説】

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。

事業活動収支計算書は、経常的収支(「教育活動収支」と「教育活動外収支」)及び臨時的収支(「特別収支」)を区分して、それぞれの収支状況が把握できるように作成されています。また、毎期の収支状況を把握できるように基本組入額後の収支差額及び基本組入前の収支差額が表示されています。

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、資産、負債、純資産の状況を前年度末の額と対比して示されています。財務状況や経営分析に使用する重要なものです。

### 財務情報の公開と閲覧

私立学校法が改正され、2005年4月から財務情報の公開が義務化されました。これに伴い、在学生及び学費弁済者、卒業生、教職員、入学予定者等に対し、2011年度(財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書、監事による監査報告書)を閲覧に供しますので、当別キャンパスは経営企画部財務課、札幌あいの里キャンパスは学務部心理科学課に申し込まれます。また、大学ホームページにも財務情報を公開しております。

なお、学校会計基準改正により2015年度より消費収支計算書が事業活動収支計算書に変更となり、資金収支計算書の付属表として活動区分資金収支計算書が新たに追加されました。

### 【資金収支計算書】

収入に関しては、学生生徒等納付金収入が予算比5,617万円減、手数料収入が予算比6,677万円減、寄付金収入が予算比3,947万円増、補助金収入が予算比8,920万円増、資産売却収入が予算比5,617万円増、付随事業・収益事業収入が予算比5,477万円減、受取利息・配当金収入が予算比61万円増、雑収入が予算比1,559万円減となりました。その結果、収入の計は予算比7,247万円減の93億5,871万円です。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比1億2,760万円減、教育研究経費支出が予算比5,806万円減、管理経費支出が予算比2,683万円増となりました。施設関係費支出については、駐車場造成用地の取得や歯学部棟・歯科クリニック棟の改修工事及び地域包括ケアセンター新築工事を行いました。支出の計は予算比2億7,069万円増の102億2,228万円となり、翌年度繰越支払資金は予算比3億4,316万円減の62億1,413万円となりました。

### 資金収支計算書

【収入の部】		(単位:円)		【支出の部】		(単位:円)	
科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	6,425,345,000	6,369,174,230	56,170,770	人件費支出	5,180,698,000	5,053,095,846	127,602,154
手数料収入	106,807,000	100,133,875	6,673,125	教育研究経費支出	2,382,726,318	2,324,659,012	58,067,306
寄付金収入	53,000,000	56,947,500	△3,947,500	総経費支出	459,733,880	486,565,071	△26,831,191
補助金収入	873,178,000	962,383,794	△89,205,794	借入金等利息支出	5,725,000	5,225,259	499,741
資産売却収入	100,000,000	105,613,690	△5,613,690	借入金等返済支出	100,000,000	100,000,000	0
付随事業・収益事業収入	1,246,912,000	1,241,438,765	5,473,235	施設関係支出	884,212,000	813,029,870	71,182,130
受取利息・配当金収入	50,000,000	49,383,087	616,913	設備関係支出	670,956,310	600,168,965	70,787,345
雑収入	283,704,000	268,104,874	15,599,126	その他支出	1,452,425,000	1,447,183,706	5,241,294
借入金等収入	0	0	0	予備費	(15,236,508)		34,763,492
前受金収入	785,817,000	733,517,150	52,299,250	資金支出調整	△1,219,650,000	△607,644,719	△612,005,281
その他の収入	734,134,000	724,028,034	10,105,966	当年度資金支出合計(B)	9,951,690,000	10,222,283,010	△270,693,010
資金収入調整	△1,227,703,000	△1,252,006,336	24,303,336	翌年度繰越支払資金	6,557,300,616	6,214,132,869	△343,167,747
当年度資金収支合計(A)	9,431,194,000	9,358,719,263	72,474,737	支出の部合計	16,508,990,616	16,436,415,879	72,474,737
前年度繰越支払資金	7,077,696,616	7,077,696,616	0	当年度資金収支差額(A)-(B)	△520,396,000	△863,563,747	343,167,747
収入の部合計	16,508,990,616	16,436,415,879	72,474,737				

### 事業活動収支計算書

【総括表】		(単位:円)	
科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金	6,425,345,000	6,369,174,230	56,170,770
手数料	106,807,000	100,133,875	6,673,125
寄付金	53,000,000	61,486,961	△8,486,961
経常費等補助金	873,178,000	862,752,794	10,425,206
付随事業収入	1,246,912,000	1,241,438,765	5,473,235
雑収入	283,704,000	268,088,768	15,615,217
教育活動収入計	8,988,946,000	8,903,075,408	85,870,592
人件費	5,068,907,000	4,995,045,208	73,861,792
教育研究経費	3,351,866,318	3,261,455,111	90,411,207
管理経費	567,513,880	581,509,062	△13,995,182
徴収不能額等	0	31,485,370	△31,485,370
教育活動支出計	8,988,267,198	8,869,494,751	118,792,447
教育活動収支差額	658,802	33,580,657	△32,921,855
受取利息・配当金	50,000,000	49,383,087	616,913
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	50,000,000	49,383,087	616,913
借入金等利息	5,725,000	5,225,259	499,741
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	5,725,000	5,225,259	499,741
教育活動外収支差額	44,275,000	44,157,828	117,172
経常収支差額	44,933,802	77,738,485	△32,804,683
資産売却差額	100,000,000	105,434,140	△5,434,140
その他の特別収入	25,000,000	111,971,176	△86,971,176
特別収入計	125,000,000	217,405,316	△92,405,316
資産処分差額	10,000,000	17,918,595	△7,918,595
その他の特別支出	0	908,762	△908,762
特別支出計	10,000,000	18,827,357	△8,827,357
特別収支差額	115,000,000	198,577,959	△83,577,959
予備費	44,904,282	44,904,282	0
基本組入前当年度収支差額	115,029,520	276,316,444	△161,286,924
基本組入額合計	△1,520,027,000	△1,415,394,414	△104,632,586
当年度収支差額	△1,404,997,480	△1,139,077,970	△265,919,510
前年度繰越収支差額	△12,591,257,396	△12,591,257,396	0
基本組入額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△13,996,254,876	△13,730,335,366	△265,919,510

### 【参考】

(単位:円)	
事業活動収入計	9,163,946,000
事業活動支出計	9,048,916,480

### 【事業活動収支計算書】

事業活動収入は予算比591万円増の91億6,986万円、事業活動支出は予算比1億5,536万円減の88億9,354万円となり、基本組入前当年度収支差額は予算比1億6,128万円増の2億7,631万円のプラスとなりました。また、基本組入額は予算比1億463万円減の14億1,539万円となり、その結果、当年度収支差額は1億3,907万円のマイナスとなりました。また、翌年度繰越収支差額は、137億3,033万円となりました。

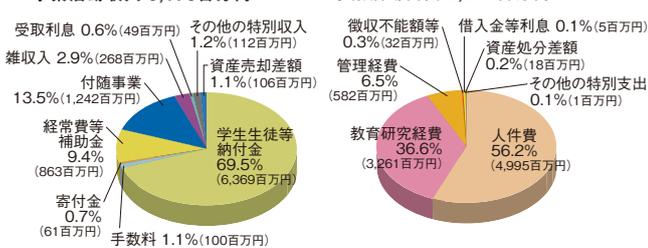
### 【貸借対照表】

総資産344億1,861万円のうち、固定資産は276億3,206万円、流動資産は67億8,655万円となりました。流動資産のうち現金預金は62億1,413万円です。総負債41億2,145万円のうち、固定負債は26億1,011万円、流動負債は15億1,133万円となりました。これらの結果、総資産から総負債を差し引いた正味資産は302億9,716万円となり、前年対比2億7,631万円増加しました。また、減価償却の累計額は、243億3,142万円であり、基本金の当期組入額は14億1,539万円を組入合計額は440億2,750万円です。

### ■2015年度事業活動収支の構成比率

事業活動収入:9,170百万円

事業活動支出:8,894百万円



### 貸借対照表

(2016年3月31日)

【資産の部】		(単位:円)	
科目	2015年度末	2014年度末	増減
固定資産	27,632,063,149	27,249,911,218	382,151,931
有形固定資産	19,976,146,484	19,602,845,640	373,300,844
特定資産	7,100,000,000	7,100,000,000	0
その他の固定資産	555,916,665	547,065,578	8,851,087
流動資産	6,786,554,999	7,832,544,257	△1,045,989,258
資産の部合計(A)	34,418,618,148	35,082,455,475	△663,837,327

【負債・純資産の部】		(単位:円)	
科目	2015年度末	2014年度末	増減
固定負債	2,610,114,798	2,743,630,436	△133,515,638
流動負債	1,511,338,220	2,317,976,353	△806,638,133
負債の部合計(B)	4,121,453,018	5,061,606,789	△940,153,771
第1号基本金	43,296,500,496	41,881,106,082	1,415,394,414
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	631,000,000	631,000,000	0
翌年度繰越収支差額	△13,730,335,366	△12,591,257,396	△1,139,077,970
負債・純資産の部合計	34,418,618,148	35,082,455,475	△663,837,327

正味資産(A)-(B)	
2015年度末	30,297,165,130
2014年度末	30,020,848,686
増減	276,316,444

## ■主な事業の実績

2015年度事業計画に基づく、主な事業と進捗状況は、以下のとおりです。

### ■教育及び学生支援活動

- 大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻博士(後期)課程の設置**  
修士課程が修了者を輩出した2015(平成27)年3月以降引き続き学修・研究の継続を希望する者のために同研究科同専攻の課程を博士課程に変更(既存の修士課程を博士(前期)課程に変更し、2015(平成27)年4月、新たに博士(後期)課程を設置しました。
- 専門看護師(CNS)の養成**  
大学院看護福祉科学研究科では、専門分野として特定されている11分野(2014(平成26)年2月現在)のうち、母性看護、老年看護、精神看護、慢性看護、がん看護及び感染看護6分野を開講しており、2015(平成27)年度についても引き続き、その養成に努めました。
- 特定行為研修およびナースプラクティショナー(NP)の養成について**  
大学院看護福祉科学研究科では、2010(平成22)年度から、5年以上の実務経験を積んだ看護師を対象に、医師と協働して作成したプロトコル内で診断・治療が提供できるナースプラクティショナー(NP)の養成を行っており、2015(平成27)年度についても引き続き、その養成に努めました。また、「特定行為に係る看護師の研修制度」が法制化されたことに伴い、NP養成コースを高度実践コースとして整備しなおし、当該コースに「特定行為研修」を内包する形で、厚生労働省に申請し、認定を受けています。特定行為21区38行為のうち、本研究科では13区23行為について、指定研修機関としての指定を受け、2015(平成27)年10月より研修を開始しました。
- 心理科学部の別キャンパスへの移転**  
2015(平成27)年4月から心理科学部の別キャンパスへの移転を年次計画に基づき開始しました。
- リハビリテーション科学部改組(リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科の設置)**  
2015(平成27)年4月から心理科学部の移転を機に心理科学部に所属していた言語聴覚療法学科をリハビリテーション科学部所属の学科へと改組転

- 換しました。これに伴い、理学・作業・言語の三療法に関する教育・研究を一学部で連携しながら実施する環境を整えました。
- 札幌医科大学との連携推進**  
連携協定に基づき、札幌医科大学が実施している地域医療実習に、本学学生が参加するなど、同大学との連携を推進しました。  
\*地域医療実習:札幌医科大学で地域密着型チーム医療実習として、全学部学科の学生が参加して実施しており、実習地域として離島を含む全国各地域に及んでいます。
- 地域医療対策の充実・支援**  
教育力向上の一環として、国家試験合格率の向上を図るため、各学部・学科において模擬試験や予備校からの補充講義を充実させました。
- 教育支援体制の強化**  
全学部において入学前教育を実施しました。また、学習支援の充実を図るため、全学部にて教育支援室または学習支援センターを設置し、学習相談に努めています。
- 就職・キャリア支援**  
①学内合同就職相談会の開催  
2015年10月に臨床福祉学、臨床心理学、言語聴覚療法学科を対象に、北海道内外の病院、一般企業、社会福祉施設、行政機関など、117団体の参加を得て開催しました。  
②薬学セミナー(学内合同就職相談会)  
2015年5月に薬学部を対象に道内の病院、製薬企業、行政機関等、184団体の参加を得て開催しました。
- 奨学事業及び経済的支援の充実**  
①「薬学教育・研究者育成奨学学生」制度の実施  
本学薬学部を卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する人物・学業成績ともに優れた薬学部入学者に対し、国立大学の学納金の差額相当分を減免する「薬学教育・研究者育成奨学学生」制度を実施しました。

- ②「歯学部特待奨学生」制度の実施  
将来、歯科医・歯科医歯の分野でリードするという高い志を持ち、人物・学業成績ともに優れた歯学部入学者に対し、その経済的支援策として、在学中の6年間の学納金を国立大学の水準以下とする「歯学部特待奨学生」制度を実施しました。
- ③福祉・介護人材育成奨学学生  
人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、人物・学業成績ともに優れた臨床福祉学入学者に対し学納金を4年間で390万円減免する「福祉・介護人材育成奨学学生」を実施しました。
- 【歯科衛生士専門学科】  
1. 奨学事業及び経済的支援  
①歯学部附属歯科衛生士専門学科生の入学金減免の実施  
AO、推薦入学者に対する入学金減免制度(半額免除)を実施しました。
- 【全学共通】  
1. 奨学事業及び経済的支援  
①「夢つなぎ入試」の実施  
経済的理由により進学が困難な状況にある受験生を対象とした「夢つなぎ入試」を実施しました。  
②入学奨励金支給制度の実施  
本学卒業生の子や兄弟姉妹で二人以上の入学者を対象とする「入学者奨励金」制度(入学金相当額)に加え、本学を卒業又は退学の方、改めて本学他学科に入学した場合、入学金相当額の奨励金を支給する制度を実施しました。  
③その他の経済的支援  
成績優秀、心身健全で、経済的理由により奨学金の貸与が必要と認められた学生を対象とした「一般奨学生」、父母等学費弁済者が災害、事故等により学費の支弁が難しくなった学生で、成績優秀、心身健全である学生に貸与される「災害・事故等奨学生」など、本学独自の奨学制度を実施し、学生の経済的支援に努めました。

■主な事業の実績(つづき)

- 1. 研究活動**  
**1. 文部科学省「大学改革推進事業(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)」採択事業の推進**  
 ①2012(平成24)年度に札幌医科大学(代表校)、北海道大学及び旭川医科大学に申請し採択された「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」について年次計画に基づき推進しました。  
 ②2013(平成25)年度に昭和大学(代表校)及び岩手医科大学に申請し採択された「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」について年次計画に基づき推進しました。  
**2. 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業(分野連携)」採択事業の推進**  
 2012(平成24)年度に昭和大学(代表校)及び岩手医科大学に申請し採択された「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」について年次計画に基づき推進しました。  
**3. 外部資金の導入**  
 科学研究費など競争的研究資金へより積極的に申請を行うとともに、寄付金や受託研究など外部資金の導入を図っています。なお、2016(平成28)年度科学研究費への申請を11月に行いました。  
**4. 重点配分研究費**  
 2016(平成28)年度科学研究費申請者に対し、重点配分研究費として1,000万円を措置し、競争原理の導入を図り配分しました。(重点配分研究費受給者 214名)  
**5. 教育向上・改善プログラムの公募**  
 本学で行われた教育の質的向上は改善する取り組みを支援することにより、教育の改善・改革を進めることを目的に、学長裁量予算を措置し、予算配付しました。(決定5件)  
**6. 長岡技術科学大学との研究交流の推進**  
 2014(平成26)年12月に、国立大学法人長岡技術科学大学と研究交流に関する協定を締結しました。研究交流は、長岡技術科学大学が採択した文部科学省地域産学官連携科学技術振興事業費補助金(大学発新産業創出拠点プロジェクト(通称:START事業))に、医療系総合大学としての本学の特徴を生かし、当該プロジェクトを構成する研究の一部に参画しています。
- 診療活動**  
**医療機関収入状況**  
 大病院では延患者数2,503名減、医療収入22,244千円増と、前年度実績を患者数では下回、医療収入は上回りました。歯科クリニックは延患者数1,700名増、医療収入は5,343千円増といずれも前年度実績を上回りました。また、大病院の病床(24床)稼働率は38.7%(2014年度:41.6%)となりました。なお、2015年度末まで、浦臼町歯科診療所の診療業務を終了しました。  
**■社会貢献・連携**  
**1. 当別町・滝川市との包括連携協定の推進**  
 本学の持つ「諸機能と知的財産を広く還元し、社会に開かれた大学として地域社会へ貢献するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図ることを目的として2014(平成26)年4月に地域連携推進室を設置しました。  
 現在、当別町及び滝川市と地域貢献・地域振興発展を目指した包括連携協定を締結し、保健・医療・福祉をはじめとする幅広い分野において、連携推進協議会及び各部会を立ち上げ当該事業について推進しています。  
**2. 北海道「福祉・介護人材確保総合対策事業(福祉のしごと魅力アップ事業)」採択事業の推進**  
 高校生、高齢者や主婦層等の一般の方を対象に、年齢等に応じた進路・就職相談や福祉・介護の仕事の大切さや魅力などを伝えるための福祉・介護

- 体験やセミナー等を実施し、将来にわたって福祉・介護人材の安定的な参入促進を図ることを目的とした当該事業について推進しています。
- 3. 高大連携**  
**社会貢献の一環と位置付け、高大連携事業として、高校からの要請に応じ本学教員を派遣しての模範講義、および本学にて高校生を受け入れる体験学習やインターンシップを実施しました。**
- 1. 生涯学習**  
**1. 薬剤師支援センターにおける薬剤師研修の実施**  
 医療現場において、薬剤師が期待される職務を果たすためには、生涯にわたって継続した自己学習・研修が求められています。これら生涯研修を自己責任のもとで行い、常にスキルアップを図る薬剤師を対象として認定薬剤師が制度化されており、2011(平成23)年度に本学認定認定事業(本学薬剤師支援センター)が薬剤師認定制度認定協議会より認定され5年目となりました。当該支援センターにおいて、引き続き、認定薬剤師研修制度に関する事業を中心として、医療現場との共同研究の推進及び連携事業を実施しています。  
**2. 認定看護師(CN)の養成**  
 認定看護師は、「日本看護協会が実施する認定看護師認定審査に合格し、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有する者が認められる」と定義づけられています。本学では、認定看護師研修センターにおいて、現在、皮膚・排泄ケア、感染管理、認知症分野の3分野を開設し、その養成に努めています。  
**3. 公開講座**  
 設定テーマに沿った開講や内容の充実等、一般向、卒業生・職能人向とともに本学の特色を生かした講座を継続的に実施しました。
- 国際交流**  
**1. 大学・学部間交流**  
 本学では、現在、在学4大学(アルバータ大学・台北医学大学・中南大学・モナック大学)、学部間7大学(同済大学・ニューヨーク州立大学バッファロー校・インディアナ大学・スラッシュ大学・中山大學・マドリード大学・エテボリ大学)、学部病院間1病院(ユングシュタリング病院)と連携協定を締結し、教育及び学術における国際交流を推進しています。  
 2015(平成27)年度については、中山大学(歯学部4名)、エテボリ大学(歯学部1名)、台北医学大学(薬学部2名、歯学部3名、看護福祉学部3名、歯科衛生専門大学校3名)の計16名を受け入れ、本学からは台北医学大学(薬学部3名、歯学部4名、看護福祉学部3名)、エテボリ大学(歯学部2名)、同済大学(歯学部1名)、中山大学(歯学部2名)、ユングシュタリング病院(歯学部1名)に計16名の学生を派遣しました。  
**2. ロシア・サハリン州、沿海州との交流推進**  
 本学では国際交流推進室を設置し、医療・健康分野における技術協力や業務提携を推進しています。2015(平成27)年7月にサハリン州保健副大臣が来学し、交流協定調印式及び「健康科学に関するシンポジウム」を開催しました。また、リハビリ分野での協力を進めるため、現地医療機関を視察し、サハリン州にて計2回のリハビリテーションセミナーを開催しました。さらには、サハリン州立歯科病院の歯科医師1名、歯科技術士2名が本学の大学病院にて歯科技術士研修を行い、歯科医師派遣プログラムについても協議を行いました。

- 3. 語学研修**  
 2015(平成27)年8月にアルバータ大学と語学研修を実施しました。(参加者数22名)
- 広報活動**  
 募集広報として新聞や進学雑誌などでの広告掲載、またターゲット地域を絞って交通広告を出しました。ホームページの機能面の拡充、メールマガジン発行など電子媒体の活用、また、オープンキャンパスは年5回(レギュラー4回、キャンパス見学会1回)実施しました。
- 経営管理**  
**予算の効率的運用・削減**  
 各部署に配付された予算の執行にあたって、事業計画に優先順位を付し、効率的な執行・削減に努めました。  
**■施設・設備**  
**1. 地域包括ケアセンター新築工事の実施(152,776千円)**  
**2. リハビリテーション科学部設置に伴う研究用備品の整備(20,000千円)**  
 リハビリテーション科学部設置に伴う研究用備品を年次計画により整備しました。  
**3. 心理科学部の当別キャンパス移転に伴う実習用機器備品の整備(18,700千円)**  
 心理科学部の当別キャンパスへの移転に伴い、必要に応じた実習用機器備品を年次計画により更新・整備を行いました。  
**4. 歯科クリニック棟4・5階の改修工事の実施(262,981千円)**  
 心理科学部の当別キャンパス移転に伴い、歯科クリニック棟(4・5階)の改修工事を実施し、教育・研究環境の整備を図りました。  
**5. 歯科クリニック棟2・3階の改修工事の実施(207,608千円)**  
 歯科クリニック棟再編に伴い、歯科クリニック棟(2・3階)の改修工事を実施し、診療体制の充実を図りました。  
**6. 歯学部講義棟2・3階の改修工事の実施(215,142千円)**  
 歯学部講義棟の実習室(2・3階)の改修工事及び実習機器の更新を行い、教育環境の整備を図りました。  
**■「2020行動計画」の推進**  
**1. 人間教育の向上プロジェクト**  
 学生の社会人基礎力(ジェネリックスキル)測定検査の導入、2015(平成27)年度入学生からGPA制度の導入を図るとともに教育支援体制の強化に努力しました。また授業改善と教育力向上を目的として、授業公開(前期28科目、後期17科目)を実施しました。教育改革の成果を公表・共有し、学部並びに大学全体の教育力向上に努めました。  
**2. 医療機関経営の健全化プロジェクト**  
 医療機関健全化プロジェクトによる具体的実施案に基づき、引き続き収支改善に努めました。  
**3. キャンパス再構築プロジェクト**  
 キャンパス再構築プロジェクトにおいて示された事項を踏まえ、将来展望に呼応した効率的・効果的な施設設備計画の検討を進めました。また、札幌あいの里キャンパス校舎再利用の方向性について基本方針を定め、効率的な利用を図るため、引き続き検討していく予定です。  
**4. 経営管理プロジェクト**  
 人員費削減に向けた諸手当の見直しについて引き続き検討していきます。また、2018(平成30)年4月の開設を目指した新分設設置構想について検討を進めます。今後は新分野設置及び従来並行して検討してきた歯科衛生専門学校の高度化についても、引き続き検討していく予定です。

# 学校法人 東日本学園 2016年度予算について

2016(平成28)年度当初予算は、3月18日開催の評議員会・理事会、予算の補正は、5月26日開催の評議員会・理事会で承認されましたので、その概要についてお知らせします。

## 2016年度予算の概要

**概要**  
 我が国の大学を取り巻く社会的環境はこれまで以上に厳しさを増し、現在、約4割の私立大学が定員割れを起こしています。2018年以降18歳人口が減少していく「2018年問題」を目前に控え、本学は「魅力ある大学づくりのため、中長期的展望に立った「2020行動計画」を2009(平成21)年度にスタートさせ、大学改革を推進しています。この間、大学全体の活性化に向けて、教育・研究・臨床を包括した大学の機能と役割を充実させるべく、心理科学部の当別キャンパスへの移転事業に着手し、当別キャンパスは学生が集う「学術キャンパス」に、札幌あいの里キャンパスは大病院及び地域包括ケアセンターを中心とした地域に根差した医療系総合大学としての役割を果たす「臨床キャンパス」へと大きく発展する体制を整えました。  
 2016(平成28)年度は、国の医療・介護・福祉の諸制度改革が本学の教育に与える影響を踏まえ、医療現場が求める学生教育を実現するための教育研究環境の整備・充実に努めます。一方、学納金改定及び一般学部の入学定員割れによる収入減、支出増の状況から、本学の中長期的な財政収支見直しも楽観できる状況にはなく、引き続き厳しい経営状況が懸念が予想されます。  
**【資金収支予算書】**  
 収入に関しては、前年度予算比6,343万円増の94億9,462万円を見込んでいます。科目別には、資産売却収入、前受金収入等の減収が見込まれる反面、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金、付随事業・収益事業収入、受取利息・配当金収入等の増収が見込まれます。  
 また、支出に関しては、前年度予算比7億4,451万円減の92億708万円が見込まれます。人件費支出は前年度予算比783万円の減、教育研究経費支出は前年度予算比8,321万円の増、管理経費支出は前年度予算比1,421万円の増となります。施設関係支出は障害者車両駐車整備等による支出、また設備関係支出は中央講義棟講義室及び実習室の教育研究用機器備品等の支出を計上しています。翌年度繰越支払資金は72億5,913万円を見込んでいます。

**【事業活動収支予算書】**  
 事業活動収支予算書は、経常的収支(「教育活動収支」と「教育活動外収支」)および臨時的収支(「特別収支」)を区分してそれぞれの収支状況を把握できるように作成されています。  
 また、毎期の収支状況を把握できるように基本金繰入前の収支差額と基本金繰入後の収支差額が表示されています。

**資金収支予算書**

【総括表】		(単位:円)		
科 目	2016年度予算	2015年度予算	増 減	
学生生徒等納付金収入	6,582,878,000	6,425,345,000	157,533,000	
手数料収入	108,069,000	106,807,000	1,262,000	
寄付金収入	53,000,000	53,000,000	0	
常務費等補助金	981,454,000	873,178,000	108,276,000	
付随事業収入	1,303,301,000	1,246,912,000	56,389,000	
雑収入	274,530,000	283,704,000	△ 9,174,000	
教育活動収入計	9,303,232,000	8,988,946,000	314,286,000	
人件費	5,170,792,000	5,068,907,000	101,885,000	
教育研究経費	3,437,588,807	3,347,820,530	89,768,277	
管理経費	580,371,909	566,463,950	13,907,959	
徴収不能額等	24,535,000	0	△ 24,535,000	
雑収入	9,213,287,716	8,983,191,480	230,096,236	
教育活動収支差額	89,944,284	5,754,520	84,189,764	
受取利息・配当金	65,300,000	50,000,000	15,300,000	
その他の教育活動外収入	0	0	0	
教育活動外収入計	65,300,000	50,000,000	15,300,000	
借入金等収入	0	0	0	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	761,017,000	785,817,000	△ 24,800,000	
その他の収入	514,667,000	734,134,000	△ 219,467,000	
資金収入調整勘定	△ 1,229,995,000	△ 1,227,703,000	△ 2,292,000	
計	9,494,622,000	9,031,194,000	463,428,000	
前年度繰越支払資金	6,971,582,000	7,077,696,616	△ 106,114,616	
収入の部合計	16,466,203,000	16,508,890,616	△ 42,687,616	
人件費支出	5,172,870,000	5,180,698,000	△ 7,828,000	
教育研究経費支出	2,461,892,807	2,378,680,530	83,212,277	
管理経費支出	472,891,909	458,683,950	14,207,959	
借入金等返済支出	5,000,000	5,725,000	△ 725,000	
借入金等返済支出	100,000,000	100,000,000	0	
施設関係支出	180,480,000	884,212,000	△ 703,732,000	
設備関係支出	633,941,304	660,815,520	△ 26,874,216	
資産運用支出	0	0	0	
その他の支出	1,319,650,000	1,452,425,000	△ 132,775,000	
予備費	80,000,000	50,000,000	30,000,000	
資金支出調整勘定	△ 1,219,650,000	△ 1,219,650,000	0	
計	9,207,706,020	9,951,590,000	△ 744,513,980	
翌年度繰越支払資金	7,259,126,980	6,557,300,616	701,826,364	
支出の部合計	16,466,203,000	16,508,890,616	△ 42,687,616	

- ①教育活動収支  
 事業活動収入の部は学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入及び雑収入の合計であり、総額93億323万円となります。一方、事業活動支出の部は、人件費51億7,079万円、教育研究経費の資金収支計算書に計上された金額に減価償却額7,669万円を加算した34億3,759万円、管理経費の資金収支計算書に計上された金額に減価償却額1億748万円を加算した5億8,037万円です。よって総額は92億1,329万円となり、教育活動収支差額は8,994万円のプラスとなります。
- ②教育活動外収支  
 事業活動収入の部は、受取利息・配当金の6,530万円です。一方、事業活動支出の部は、借入金利息の500万円です。よって、教育活動外収支差額は6,030万円のプラスとなり、経常収支差額は1億6,024万円のプラスとなります。
- ③特別収支  
 事業活動収入の部は、資産売却差額の1,500万円、現物寄付の2,500万円、施設設備補助金の6,540万円であり、総額1億5,400万円となります。一方、事業活動支出の部は、資産処分差額の1,000万円となり、その結果、特別収支差額は9,540万円のプラスとなります。  
 以上から、予備費の8,000万円を引いた基本金繰入前当年度収支差額は1億6,564万円のプラスとなります。また、基本金繰入前の8,942万円を組み入れることにより、当年度収支差額は6億2,378万円のマイナスとなります。

## 事業活動収支予算書

【総括表】		(単位:円)		
科 目	2016年度予算	2015年度予算	増 減	
学生生徒等納付金	6,582,878,000	6,425,345,000	157,533,000	
手数料	108,069,000	106,807,000	1,262,000	
寄付金	53,000,000	53,000,000	0	
常務費等補助金	981,454,000	873,178,000	108,276,000	
付随事業収入	1,303,301,000	1,246,912,000	56,389,000	
雑収入	274,530,000	283,704,000	△ 9,174,000	
教育活動収入計	9,303,232,000	8,988,946,000	314,286,000	
人件費	5,170,792,000	5,068,907,000	101,885,000	
教育研究経費	3,437,588,807	3,347,820,530	89,768,277	
管理経費	580,371,909	566,463,950	13,907,959	
徴収不能額等	24,535,000	0	△ 24,535,000	
雑収入	9,213,287,716	8,983,191,480	230,096,236	
教育活動収支差額	89,944,284	5,754,520	84,189,764	
受取利息・配当金	65,300,000	50,000,000	15,300,000	
その他の教育活動外収入	0	0	0	
教育活動外収入計	65,300,000	50,000,000	15,300,000	
借入金等収入	0	0	0	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	761,017,000	785,817,000	△ 24,800,000	
その他の収入	514,667,000	734,134,000	△ 219,467,000	
資金収入調整勘定	△ 1,229,995,000	△ 1,227,703,000	△ 2,292,000	
計	9,494,622,000	9,031,194,000	463,428,000	
前年度繰越支払資金	6,971,582,000	7,077,696,616	△ 106,114,616	
収入の部合計	16,466,203,000	16,508,890,616	△ 42,687,616	
人件費支出	5,172,870,000	5,180,698,000	△ 7,828,000	
教育研究経費支出	2,461,892,807	2,378,680,530	83,212,277	
管理経費支出	472,891,909	458,683,950	14,207,959	
借入金等返済支出	5,000,000	5,725,000	△ 725,000	
借入金等返済支出	100,000,000	100,000,000	0	
施設関係支出	180,480,000	884,212,000	△ 703,732,000	
設備関係支出	633,941,304	660,815,520	△ 26,874,216	
資産運用支出	0	0	0	
その他の支出	1,319,650,000	1,452,425,000	△ 132,775,000	
予備費	80,000,000	50,000,000	30,000,000	
資金支出調整勘定	△ 1,219,650,000	△ 1,219,650,000	0	
計	9,207,706,020	9,951,590,000	△ 744,513,980	
翌年度繰越支払資金	7,259,126,980	6,557,300,616	701,826,364	
支出の部合計	16,466,203,000	16,508,890,616	△ 42,687,616	

## ■主な事業計画

- 教育及び学生支援活動  
**【大学】**  
 1. 地域包括ケアセンター開設に伴う大学院教育の充実・強化  
 2. 専門看護師(CNS)の養成  
 3. 特定行為研修およびブライタリオン(NP)の養成  
 4. 視学事業及び経済的支援の充実  
**【学部】**  
 1. リハビリテーション科学部(理学療法学科・作業療法学科)の完成  
 2. 心理科学部の当別キャンパスへの移転  
 3. リハビリテーション科学部改組(リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科設置)  
 4. 地域包括ケアセンター開設に伴う多職種連携教育及び実習教育の充実・強化  
 5. 国家試験対策の充実・支援  
 6. 教育力向上・改善プログラムの実施  
 7. 視学事業及び経済的支援の充実  
**【歯学部附属歯科衛生専門学校】**  
 1. 視学事業及び経済的支援の充実  
 2. 国家試験対策の充実・支援  
**■研究活動**  
 1. 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業(分野連携)」採択事業の推進  
 2. 文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(大学改革推進経費)」採択事業の推進  
 3. 外部資金の導入  
 4. 重点配分研究費  
 5. 長岡技術科学大学との研究交流の推進  
**■診療活動**  
 1. 医療機関の経営健全化  
 2. 訪問看護・居宅介護支援事業  
**■社会貢献・連携**  
 1. 地域・滝川市との包括連携協定の推進  
 2. 北海道「福祉・介護人材確保総合対策事業(福祉のしごと魅力アップ事業)」採択事業の推進  
 3. 高大連携  
 4. コミュニティバス事業  
 5. 本学施設の地域への開放  
**■生涯学習**  
 1. 薬剤師支援センターにおける認定薬剤師研修の実施  
 2. 認定看護師(CN)の養成  
**■国際交流**  
 1. 大学・学部間交流  
 2. 語学研修  
 3. ロシア・サハリン州、沿海州及びモンゴル国立医科大学との交流推進  
**■経営管理**  
 1. 予算の効率的運用・削減  
 2. 学園整備計画に基づく借入金の返済  
**■施設・設備**  
 1. リハビリテーション科学部設置に伴う教育研究用機器備品の整備  
 2. 心理科学部の当別キャンパスへの移転に伴う教育環境の整備  
 3. 心理科学部の当別キャンパス移転及びリハビリテーション科学部(言語聴覚療法学科)の学科改組による教育環境の整備  
 4. 薬学部実習室(2階・3階)の機器等の更新及び教育環境の整備  
 5. 歯学部臨床シミュレーション実習室(3階)の機器等の更新及び教育環境の整備  
 6. 歯科クリニックのデジタル画像診断更新及び歯学部臨床教育環境の整備  
 7. 各学部の講義室及び実習室の機器更新及び教育環境の整備  
 8. 動物実験センターの飼育装置(ラック)の更新及び研究環境の整備  
 9. 各学部の講義室及び実習室等の空調設備の更新及びエネルギーの効率化・省エネの実施  
 10. 駅近土地の駐車場整備及び障害者車両駐車場の整備  
**■その他**  
 1. 情報の積極的な公開  
 2. 「2020行動計画」の推進  
 3. 大学バスの運行

# 2016年 新入生アンケート 結果報告

毎年恒例の全学実施の新入生アンケート。新入生が本学のどこに魅力を感じて志願したのかを聞いてみました。

## 多くの学生が「医療系総合大学」に期待。

全ての学科において、医療系総合大学である点を魅力に挙げた学生が多いという結果になりました。また「学生生活」という回答も多く、課外活動などでも他学科との交流が盛んなことに対する大きな期待があらわれています。

## 注目が集まる「国家試験成績」と「キャンパス環境」。

国家試験成績にも、回答が集まりました。また「キャンパス環境」を挙げる学生も多く、自然と先端の施設・設備で学べる環境も本学の強い魅力であると言えます。

## 歯科衛生士専門学校では、おおよそ8割がオープンキャンパスに参加。

施設見学や体験学習などを通して学校の雰囲気を目で実際に確かめられるオープンキャンパス。例年通り、多くの学生がこの機会を利用していることがわかります。

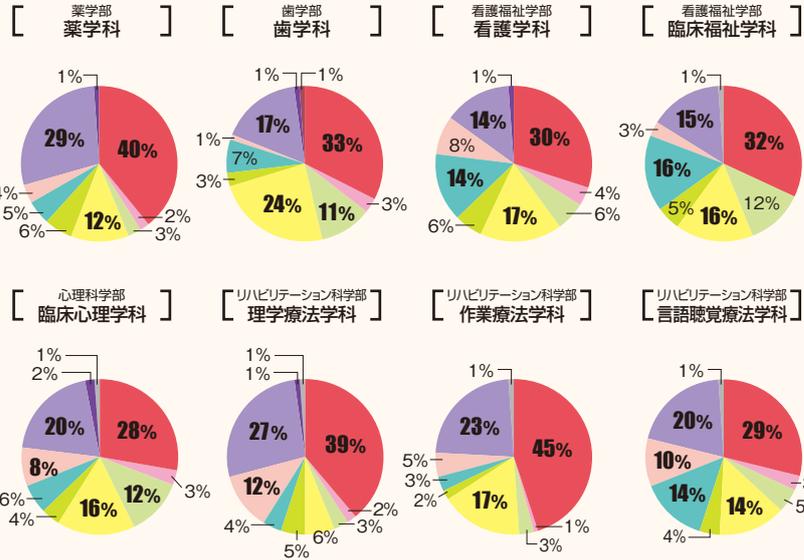
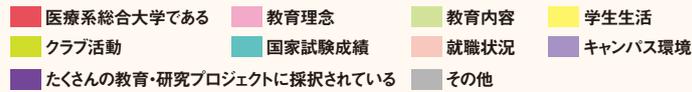
### ■有効回答者のプロフィール

	薬学部	歯学部	看護福祉学部 看護学科	心理科学部 臨床心理学科	リハビリテーション科学部 理学療法学科	言語聴覚学科
回答者人数	175*	80*	116*	40	70	88
出身地						
北海道	150	38	110	39	57	86
東北	15	1	5	1	6	2
東京・神奈川・千葉・埼玉	2	9	1	0	3	0
上記以外の関東甲信越	2	10	0	0	2	0
東海・北陸	3	5	0	0	0	0
関西	1	7	0	0	2	1
中国・四国	1	5	0	0	0	0
九州・沖縄	1	5	0	0	0	0
性別						
男	71	55	10	19	19	42
女	104	25	106	21	51	46
卒業年度						
2016年3月	139	35	108	39	60	85
2015年3月	18	16	3	1	5	2
2014年3月以前	18	29	5	0	5	2
入試形態						
AO方式入試	21	11	10	5	10	7
一般推薦入試	17	2	19	0	1	5
特別推薦入試	51	9	26	10	12	19
一般前期入試	55	15	29	10	21	25
センター前期A入試	15	16	8	4	6	9
センター前期B入試	7	4	9	11	10	4
一般後期入試	3	10	11	0	5	7
センター後期入試	0	3	3	0	5	1
一般後期B試験	0	6	0	0	0	0
編入入試	6	4	1	0	0	0

\* 編入生を含める

## 北海道医療大学

### Q. 本学を志望した際、併願を考えた他大学と比べて本学のどこに魅力を感じましたか？

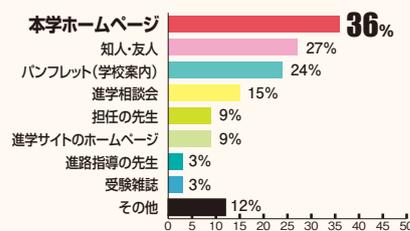


## 歯学部附属歯科衛生士専門学校

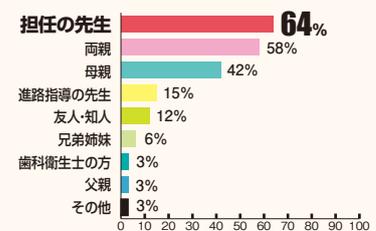
### Q. 本校のオープンキャンパスに参加しましたか？

参加した **85%**

### Q. 本校を何で知りましたか？ (複数回答可)



### Q. 進路決定にあたって誰に相談しましたか？ (複数回答可)



## EDITOR'S NOTE

七夕飾りが軒先に揺れる季節となりました。

今年も早いものでもう7月、いよいよ夏の到来ですね。7月といえば、七夕、海開き、夏祭り、花火大会、ビアガーデン、またキャンパスなどこの時期からですね。イベント目白押しの夏が目前に迫るこの時期ってなんかワクワクしませんか？私は1年で最も好きな季節です。学生時代は夏休みが待ち遠しくてこの時期からカウントダウンをしていました。浮足立った気分のまま夏休みを終え、その後の試験で打ちのめされるなんて経験もありましたね。一方で自身の気持ちを制御して目標に向けて計画性をもって過ごした夏もありました。やりきったという達成感とともに自身の成長を感じられた夏でした。どちらもいい思い出です。学生のみならずも目前に迫った夏休みまでカウントダウンを始めているのではないのでしょうか？ただし、浮かれ気分は時には事故・トラブルのもとになります。はめを外し過ぎず、冷静に考えて行動するよう心掛けていただければと思います。

とはいえこの時期はやはり浮足立ちますよね(笑)。

これから厳しい暑さが続くと思いますが、健康に留意して思い出に残る楽しい夏をお過ごしください。

(D・S記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.164

STAFF ● 遠藤 泰 派上 尚也 長澤 敏行 伊藤 修一  
 遠藤 紀美恵 志波 晃一 金澤潤一郎 武田 淳子  
 澤村 大輔 白鳥 亜矢子 千葉 利代 杉谷 昌彦  
 宮川 雄一 塚田 将人

発行日 ● 2016年7月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課  
 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
 ☎(0133)22-2113  
 http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。  
 E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp

■北海道医療大学の教育理念  
 生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

